

学校だより 第2回学校評価特別号

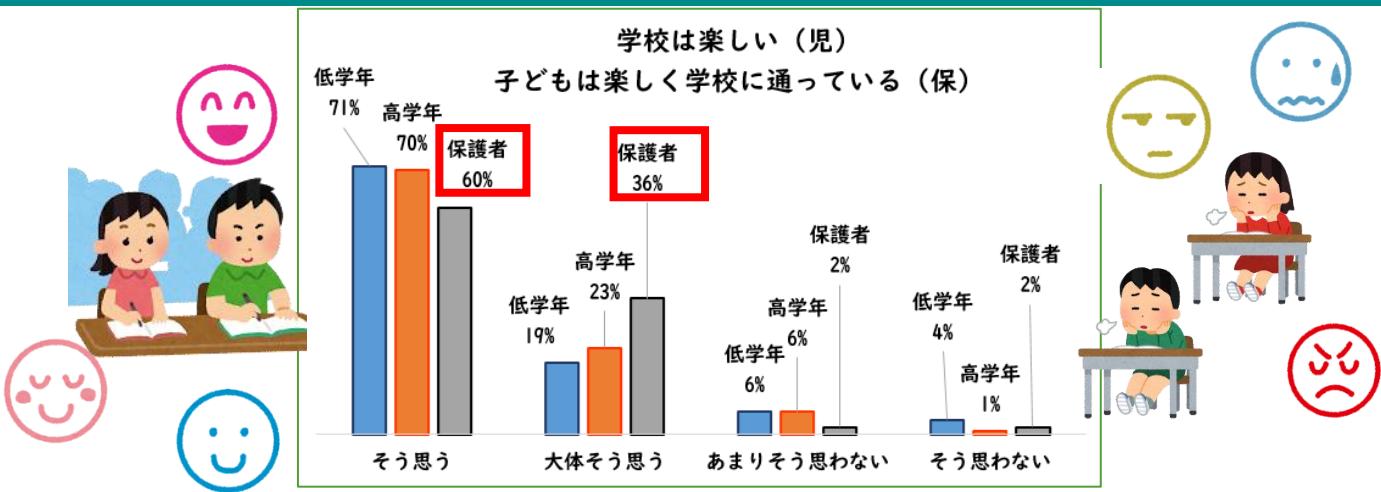
西陣中央小学校
ホームページ



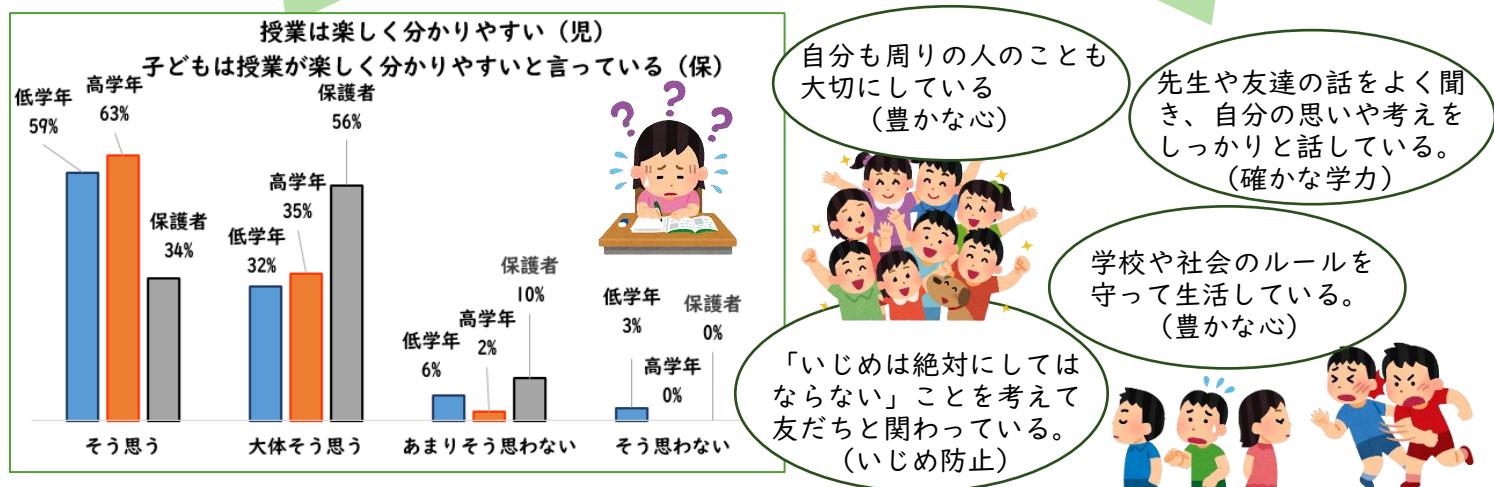
平素は、本校教育にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

さて、1月に学校評価アンケートのご回答にご協力いただきありがとうございました。今回、学校評価特別号にて、アンケート結果をお知らせさせていただきます。今回の学校評価の結果を受けとめ、学校教育の在り方を追求し、今後につなげていきたいと考えております。

楽しい学校とは、学習も楽しく、人と人とのつながりがあること



「学校は楽しい」「子どもは楽しく学校に通っている」に対して、保護者の肯定的な回答が第1回（7月）調査では80%であったのに対し、第2回調査（1月）調査では96%に上昇したことがわかりました。しかし、この結果は良いと言えるのでしょうか。子どもたちの回答からは、約10%が「学校に楽しく行っているとは思っていない」「授業は楽しく分かりやすいとは思っていない」という結果がわかります。楽しい学校とは何なのか。授業は学ぶ楽しさになっているのか、ルールを守る、いじわるをするしない、みんなが気持ちよく過ごすために相手を意識した行動を身につけること、西陣中央小の子たちのためにとわたしたち教職員がしている努力は「子どもにとって楽しく通いたい学校」に直結しているのか、とても考えさせられました。一方で、右下に出したアンケート項目の結果は（数値は、アンケート結果表よりご覧ください）、肯定的な回答が多くみられます。引き続き、教職員一同、学校教育について議論し、取組をすすめていきたいと思います。



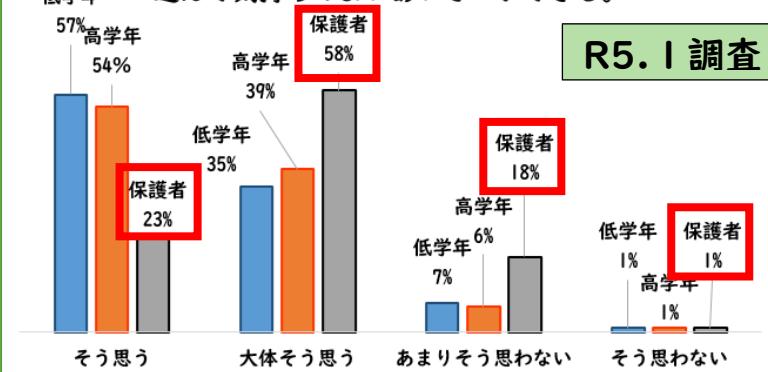
「あいさつ」の変化

今年度第1回調査（7月）と第2回調査（1月）を比べたものです。前回の本紙面では、子ども自身はあいさつができるいると感じているのに対して大人はそうでもないと感じている結果（右下のグラフ参照）をお伝えしていました。子どもたちの回答は前回とそう大きく変わりはないものの、保護者の方の「そう思う」「大体そう思う」回答率が上昇したことが分かりました。

学校では、高学年の中でも中心となって引き継ぎあいさつの声を広げる活動をずっとしています。この結果は、子どもたちの相手に伝わるあいさつができるようになってきている結果なら嬉しいです。あと少しで、6年生も卒業です。自分たちで作り上げる学校を下級生たちはしっかり目に焼き付けて、引き継いでいって欲しいです。

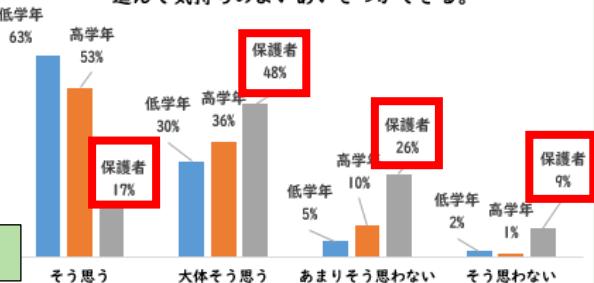
（子どもは）いつでもどこでも誰に対しても、進んで気持ちのよいあいさつができる。

R5.1 調査

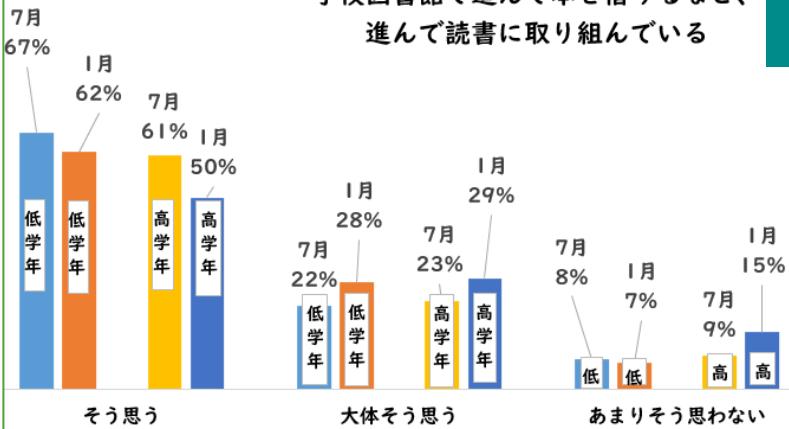


（子どもは）いつでもどこでも誰に対しても、進んで気持ちのよいあいさつができる。

R4.7 調査



学校図書館で進んで本を借りるなど、
進んで読書に取り組んでいる



「進んで読書に取り組む」が…

「進んで読書に取り組んでいる」に対する肯定的な回答が7月に比べて減っています。要因は様々に考えられますが、休み時間の図書館利用が減っていることは確かです。意図的な声かけが必要と感じています。

どのような場面で、子どもたちの成長を感じられたか、お聞きしました。

すぐ人に頼っていたのですが頼らず自分でするようになった。

学校での出来事や、自分がどう感じたか、どのような行動をしたかなど、ただ出来事を伝えるだけでなくその後についても詳しく話をして説明をする時間がとても増え、日々成長を感じています。

テストや通知票を持ち帰り、いつもは「□点だった」で終わっていたところ「ここがダメだった、足りなかった、次は全部○にしたい」と言うようになりました。

漢字をきれいに書くように心がけたり、習った漢字を嬉しそうに教えてくれること。

自ら先生方に挨拶をするようになり、成長を感じました。

お友達の気持ちを考えながら自分の気持ちも伝えようとしてくれている時に成長を感じました。

他の保護者の方から、息子がしっかりと挨拶やお礼が言えるねと聞くことが何度かあり、親の目がなくともちゃんとできるようになったのだと感じる。私が忙しくしていると、すんなり幼稚園児の弟の世話（お風呂に入れたり、寝る準備をしたり）をしてくれるようになりました。



任意回答でしたが、たくさんの保護者の方に回答していただきました。一部になりますが皆様に紹介させていただきます。ご意見いただきまして、ありがとうございました。（※表現を一部修正しております）

令和4年度 第2回学校評価アンケート 児童		【低学年 1~3年生】				【高学年 4~6年生】			
		そう思う	大体 そう思う	あまり そう思わない	そう思わない	そう思う	大体 そう思う	あまり そう思わない	そう思わない
確かな学力	授業は楽しく分かりやすい。	59%	32%	6%	3%	63%	35%	2%	0%
	目標をもって、じっくり取り組んでいる。	49%	37%	9%	5%	53%	40%	6%	1%
	先生や友だちの話をよく聞き、自分の思いや考えをしっかりと話している。	53%	34%	10%	3%	51%	38%	10%	1%
	自ら進んで家庭学習に取り組んでいる。	47%	35%	14%	4%	45%	40%	13%	2%
	学校図書館で本を借りるなど、進んで読書に取り組んでいる。	62%	28%	7%	3%	50%	29%	15%	6%
豊かな心	学校は楽しい。	71%	19%	6%	4%	70%	23%	6%	1%
	自分のことも周りの人のことも大切にしている。	71%	26%	3%	0%	67%	31%	2%	0%
	いつでもどこでも誰に対しても、進んで気持ちのよいあいさつができる。	57%	35%	7%	1%	54%	39%	6%	1%
	伝統文化をはじめとした地域の文化に関心をもっている。	48%	33%	14%	5%	57%	33%	7%	3%
	学校や社会のルールを守って生活している。	65%	28%	6%	1%	61%	37%	2%	0%
健やかな体	基本的な生活習慣(早ね、早起き、歯みがき、身の回りのせいけつなど)が身についている。	51%	34%	11%	4%	48%	38%	13%	1%
	外に出て遊び、よく体を動かしている。	58%	26%	12%	4%	44%	31%	17%	8%
	安全に気をつけながら生活している。	79%	17%	3%	1%	72%	25%	3%	0%
いじめ防止	自分のことを大切にしている。	84%	11%	3%	2%	68%	24%	6%	2%
	友だちを大切にしている。	85%	13%	2%	0%	85%	14%	1%	0%
	「いじめは絶対にしてはならない」ことを考えて友だちと関わっている。	73%	20%	5%	2%	84%	15%	1%	0%

学校運営協議会理事の方から

学校運営協議会理事会では「子どもにとって楽しい学校とは」について、話がはずみました。子どもにとって楽しくないという理由は様々であって、勉強が理由という割合よりも「外で遊びたいのに遊べないな」「宿題が多いな」など生活の中のことを理由にあげていることもあると考えてみると、もっと子どもに寄り添えるようになるのではないかというご意見を頂きました。

また、放課後に人気の遊び場「公園」についても、子どもにとって安全に利用するために大切なことは何なのか、話し合いが進みました。

【進んで読書に取り組む】低学年のときには100冊読書を達成していたのに、急に読む量が減ったという声から、以前は学校全体で今以上に読書の取組を重視し、子どもたちに読書の習慣が浸透していたように思うというご意見がありました。学年が上がると授業での図書館利用が少なくなってしまうことも要因の一つかもしれません。しかし、今年度も100冊読書、1万ページ読書を達成し、目をキラキラ輝かせて本の世界を教えてくれる子たちが多くいることなど、子どもたちの興味や関心が多様になってきていることも交流しました。実際に、図書館の利用が減っているのも確かなことです。来年度、改めて読書について取組を重視していきたいと考えました。

令和4年度 第2回学校評価アンケート 保護者		【保護者】			
		そう思う	大体 そう思う	あまり そう思わ ない	そう思わない
確 か な 学 力	子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	34%	56%	10%	0%
	子どもは、目標をもって、じっくり学習に取り組んでいる。	26%	55%	17%	2%
	子どもは、先生や友だちの話をよく聞き、自分の思いや考えをしっかりと話している。	35%	50%	13%	2%
	子どもは、自ら進んで家庭学習に取り組んでいる。	28%	44%	23%	5%
	子どもは、学校図書館で本を借りるなど進んで、読書に取り組んでいる。	35%	34%	24%	7%
豊 か な 心	子どもは、楽しく学校に通っている。	60%	36%	2%	2%
	自分のことも周りの人のことも大切にしようとする心が育っている。	48%	48%	4%	0%
	子どもは、いつでもどこでも誰に対しても、進んで気持ちのよいあさつをしている。	23%	58%	18%	1%
	伝統文化をはじめとした地域の文化に関心をもっている。	21%	45%	30%	4%
	子どもは、学校や社会のルールを守って生活している。	50%	48%	2%	0%
健 や か な 体	子どもは、基本的な生活習慣(早寝、早起き、歯磨き、身の回りの清潔など)が身についている。	32%	56%	10%	2%
	子どもは、外に出て遊び、よく体を動かしている。	31%	36%	28%	5%
	子どもは、安全に気をつけながら生活している。	44%	54%	2%	0%
い じ め 防 止	子どもは、自分自身のことを大切にしている。	57%	41%	2%	0%
	子どもは、友だちを大切にしている。	64%	36%	0%	0%
	子どもは、「いじめは絶対に許されることである」ことを意識して友だちと関わっている。	59%	40%	1%	0%
家庭 ・ 学 校 ・ 地 域 の 連 携	学校は、ホームページ・学校だよりを通して、学校の様子をわかりやすく伝えている。	43%	53%	4%	0%
	学校は、学習や学校生活で困りがあったとき、誠意ある対応をしている。	48%	47%	4%	1%
	学校は、地域やPTAと共に、子どもたちの安全を守ろうとしている。	60%	38%	2%	0%
保 護 者 ご 自 身	子どもが自ら学ぼうとする気持ちを高める工夫をしている。	20%	66%	14%	0%
	子どもの間違った言動や行動に対して、毅然とした態度で接している。	51%	48%	1%	0%
	生活習慣を整えるために、子どもとルールや約束事などを決めて生活している。	38%	58%	4%	0%
	自分の命を大切にすること、他者の命を大切にすることについて、子どもと共に考える時間を大事にしている。	45%	49%	6%	0%
	ホームページ・学校だより・学習予定表など学校からの発信について目を通し、学校生活について子どもと共有する時間を大切にしている。	24%	66%	9%	1%

【人と人とのつながり】子どもには「遊びを大切にして欲しい」とご意見をいただきました。遊びの中で気づき、はぐくまれるものがあり、質の高い遊びをしっかりしてきた子は、大人になったときにクリエイティブな思考ができる。それは教育を高めるヒントになるのではないか、そのためには、子どもの遊びに大人が関わることが大切ではないかというご意見もいただきました。

他にも、西陣中央の子どもたちは一人一人が大事に育てられまっすぐに育っていることなど、幅広く交流の時間をもてました。